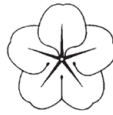




進路便り



2016年

第6号

平成28年12月21日

茨城県立佐和高等学校進路指導部

冬休みを迎えるにあたって

今年も終わりに近づきました。12月23日（金）～1月9日（月）の連続18日間の休みがやってきます。今年度の定期考査も4回を終え、残り1回を残すのみとなりました。1年生は文理、2年生は科目選択が決定しました。希望進路を実現するためには何に取り組んだらよいのでしょうか。

○ 学習計画をたて、学習時間の確保をしよう。

最低限、各教科の課題（宿題）は当然のこと、自分の弱点教科・分野を確認し克服しましょう。英検、漢検取得を目指す人は、検定勉強の時間を組み込み、習慣にして学習のリズムをつくりましょう。

また、起床、家庭学習開始時間、就寝の時間3点は固定して生活リズムをつくり、家庭学習時間を確保させます。1日3～4時間、上位をねらう人は8時間以上ほしいところです。冬休みはまとまった時間がとれるチャンス。頑張ることを一つつけてください。

○ 模擬試験を受けよう。

1月14日（土）に1、2年生の総合学力テスト（模試）があります。模試は、「全国規模の受験生の中で、自分の立ち位置を知る。」「学習内容が身についているかを測る。」ものです。大学入試は全国規模。佐和高校を卒業したら、高校の囲いから出ていくことになります。たとえ、推薦入試という方法で入学したとしても、ライバルは勉強して実力をつけて来ています。今回申し込んだ人は、模試に向けて目標を設定してみましょう。申し込まなかった人は、次回こそ、申し込みましょう。

○ 進路が決まった3年生へ

最後まで授業を大切に、実力をつけよう。

4月から一緒に肩を並べる人たちは、2月、3月のぎりぎりまで勉強をして入学試験を突破して来ています。たくさんの資格を取って来ています。この人たちと勝負できる実力をつけましょう。入学、入社後に、漢字が書けないと提出物で困ります。英語ができなくて単位が取れず、留年することがあります。高校の学習内容はその先の基礎です。先を見据え、取り組んでください。気が緩んで、進路先へ提出した調査書より評価内容が落ちてしまわないように。社会で通用する人になりましょう。

1 学年より 大学見学会の報告

10月18日（火）に東京方面に、クラス単位で4つのコースに分かれて行ってきました。

＜立教大学→麗澤大学コース＞ 1年3組 小沼 弘樹

今回の大学訪問は私達にとって、貴重な一日となりました。大学には、それぞれ色々な学び方があるのを知りました。最初の立教大学では、学生一人一人が静かで、大学に本気で学びに来ているのを感じました。また、麗澤大学では、皆が明るく元気で、皆で楽しく学んでいるのが分かりました。私達の大半の人が大学についてそこまで考えていなかったけれど、自分たちで考えさせるきっかけをつくれた貴重な体験ができました。

＜明治大学→獨協大学コース＞ 1年5組 宮崎 直哉

私達のクラスは明治大学、獨協大学へ訪れました。2つのキャンパスの雰囲気はとても違っていました。私達が訪れた明治大学の駿河台キャンパスは都心にあり高層ビルのようなでした。獨協大学は都心から離れ、グラウンドや緑があり敷地がとても広かったです。どちらの大学も勉強がとてもかどりそうで生活しやすいところでした。私はこの見学会で理系・文系の選択を決めるのにとても参考となり、やる気になりました。

＜青山学院大学→立正大学コース＞ 1年1組 坪 桃果

大学見学をしたことは、「大学行きたい!」ということです。まず、青山学院大学では、広い敷地内を見て回ったり、学食を食べたりしてとてもあこがれました。楽しそうに歩いている大学生を見てうらやましくなりました!立正大学では、大学に関してのビデオを見て、立正大学についてよく分かりました。仏教の学科があることに驚きました。今後、自分の進路を決めていくのに、良い経験となりました。大学へは、よりいっそう行きたいと思うようになりました。

＜東京理科大学→淑徳大学コース＞ 1年4組 森下 桃

私たち1年4組は、東京理科大学と淑徳大学に行ってきました。東京理科大学で感じたことは、全ての学生が熱心に学問に取り組んでいるということでした。また、大学内の施設も充実していて、不便なく学問に打ち込めるようになっていました。淑徳大学は落ち着いた雰囲気の学校でした。こちらも設備が整っていました。

今回で大学の雰囲気をつかむことができたので、参考にしていきたいです。

大学入試・就職試験の結果

12月9日現在でわかっている実績を紹介します。

＜大学＞ ※（ ）は合格者人数。（ ）無は、いずれも1名。

茨城大学（1） 茨城キリスト教大学（19） 常磐大学（21） 流通経済大学（2） つくば国際大学（6）
日本大学（3） 国士舘大学（4） 神奈川大学（3） 城西大学（3） 千葉工業大学（3） 麗澤大学（2） 千葉科学大学（2） 神奈川工科大学 工学院大学 国際武道大学 産業能率大学 いわき明星大学 二松学舎大学 仙台大学
千葉商科大学 名古屋学芸大学 文京学院大学 ネブラスカ大学等

＜短期大学・専門学校等＞

会津大学短期大学部（2） 山形県立米沢女子短期大学（2） 常磐短大（7） 茨城女子短大（2） 青山学院女子短大（2）
佐野日本短大（2） 水戸桜の郷看護（3） 東京医科大学霞ヶ浦看護（2） 土浦協同看護（3） 県立中央看護（2） 県立産業技術短大（4） 県立水戸産業技術（1） 茨城歯科（4） 等

＜就職＞

入国警備官 茨城県小中学校事務 水戸市消防 ひたちなか市役所（株）日立オートモティブシステムズ 水戸京成百貨店
常陽銀行 日本郵政株式会社（2） 東京電力パワーグリッド（株） 茨城県市町村職員共済組合（2） 株式会社パルパ 等

◎合格者の声

＜神奈川大学 経済学部 経済学科 合格＞ ＊指定校推薦入試

3年3組 高野 拓海

1年生の時は指定校推薦合格のしくみがよくわかっておらず、テストも散々でしたし、それどころか提出物も出せない駄目な生徒でした。そんな自分の転機になったのが高2の夏に参加した神奈川大学のOC（オープンキャンパス）でした。非常に魅力的で将来ここに進学したいと思い、推薦の条件を調べてみたら自分の評定ではそれに達していませんでした。危機を感じたのはその時でした。今やるべきなのは、定期考査で良い成績を出して少しでも評定平均を上げることだと思います。それからのテストには必死で勉強し始めました。それからは急激に成績が上がりました。そのうち1位になりたいという欲が出てきました。それをモチベーションとして最後までがんばりきることができました。

【担任の先生から】

高野君は、目標を定めることによって自らを奮い立たせることができます。それは学業のみにとどまらず、弓道部の活動や学校行事、毎日の清掃にいたるまで、小さな目標を自分に課して楽しみながら努力しています。苦しいこともあったのだと思いますが、それを見せない穏やかな振る舞いに担任として感心しています。

＜茨城県立中央看護専門学校 看護学科3年課程 合格＞ ＊公募制推薦入試

3年2組 鹿志村光希

私が志望校を決定したのは、高校3年生の夏休みでした。1、2年生の時は、3年間所属していた陸上部の活動に力を入れていたため、進路のことは全く考えていませんでした。ただ、学校生活でやるべきことはきちんと取り組み、部活動と勉強を両立させ、定期考査では学年上位の成績をキープしてきました。部活動を引退してから、進路について悩みましたが、担任の先生から看護師を薦められ、様々な看護学校のオープンキャンパスに参加し、茨城県立中央看護専門学校を志望校にしました。

試験内容は英語、国語、面接でした。私は英語が苦手だったため、基礎から学ぼうと考え、学校の休み時間などの隙間時間も無駄にせず英単語帳を読むようにしました。すると、文法も徐々に理解できるようになり、長文も読めるようになり、無事に合格を果たすことができました。今は入学後のことを見据えて、勉強に励んでいます。大切なことは看護師になることなので、学校に合格したことで気を抜かず、残りの高校生活で入学後、困らないような学力を付けていきたいと思っています。

【担任の先生から】

努力、継続することが大切なことは誰もが知っていることだと思います。しかし、「三日坊主」という言葉があるように、継続することは難しいことです。鹿志村さんはそれができる生徒です。3年2組では朝のSHRで英語と数学のドリルを行っています。鹿志村さんはそれを1日も怠ることなく取り組んできました。「努力に勝る天才なし」を証明してくれたと思っています。

進路に関する学校行事

12月

23日（金）～1月9日（月）冬季休業

1月

4日（水）～6日（金）冬季課外
12日（木）大学入試センター試験事前指導
14日（土）大学入試センター1日目 総合学力テスト（1・2年）
15日（日）大学入試センター2日目
21日（土）英検1次

26日（木）～31日（火）第4回定期考査（3年）

28日（土）漢字検定

2月

1日（水）自宅学習開始（3年） 小論文説明会（1年）
14日（火）～17日（金）第5回定期考査
18日（土）センター試験早期対策模試
19日（日）英検2次
2月中 小論文説明会（2年）および演習